



第120期 報告書

2023年4月1日～2024年3月31日



レイズネクスト株式会社

証券コード：6379

》トップメッセージ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
ここに第120期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)の事業の概況をご報告申し上げます。
何卒、ご高覧いただきたくお願い申し上げます。

代表取締役社長
社長執行役員

毛利 昭彦



当期の経営成績の概況

当連結会計年度のわが国経済は、持ち直しに足踏みがみられるものの、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあり、緩やかに回復しています。他方、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが国内景気を下押しするおそれと、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等のリスクが懸念される状況が続いております。

当社を取り巻く事業環境につきましては、石油製品の構造的な需要減少と中国の内需減少による石化製品の市況悪化により、需要回復には至っておりません。一方で、政府は「GX実現に向けた基本方針」を公表し、産業界ではカーボンニュートラル社会に向けた新たな設備投資計画が打ち出され始めております。また建設業界においては、

工事従事者の不足が顕在化している中、2024年度からは時間外労働の上限規制が導入されており、社会的要請である建設現場の働き方改革へ向けた対応が喫緊の課題となっております。

当社グループにおきましては、受注高は前期比で増加しました。メンテナンス分野では定期修理工事の増加を主な要因として前期比で増加しました。また、エンジニアリング分野では前期と同様に大型工事の受注があったことにより前期と同水準になりました。完成工事高は前期と同水準となりました。メンテナンス分野では受注高と同様に定期修理工事の増加を主な要因として、前期比で増加しました。また、エンジニアリング分野では改造工事や新規設備工事が減少したため、前期比で減少しました。完成工事総利益は複数の高採算工事の計上があった前期からの反動のため、前期比で減少しました。

当社グループの連結の業績としましては、受注高1,517億81百万円(前期比9.3%増)、完成工事高1,403億66百万円(前期比0.2%増)、営業利益99億68百万円(前期比8.7%減)、経常利益102億61百万円(前期比8.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益72億49百万円(前期比6.4%減)となりました。

当社単体の業績につきましては、受注高1,441億93百万円(前期比9.8%増)、完成工事高1,325億44百万円(前期比0.2%増)、営業利益91億30百万円(前期比8.3%減)、経常利益96億11百万円(前期比8.1%減)、当期純利益67億14百万円(前期比8.8%減)となりました。

今後の見通し

次期(2025年3月期)につきましては、コロナ禍を過ぎ、賃上げの定着やサービス価格の上昇などによるデフレ脱却が進み、景気が持ち直していくことが期待されますが、反面、時間外労働の上限規制適用(2024年問題)による人手不足や物価高による実質賃金の低下など景気の下振れ要因もあり、引き続き不透明な状況が継続するものと考えております。

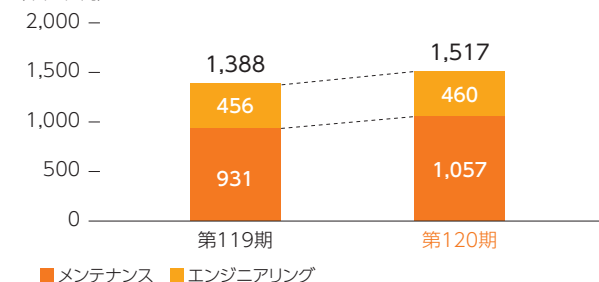


次期の連結業績予想につきましては、受注高1,420億円、完成工事高1,560億円、営業利益93億50百万円、経常利益95億円、親会社株主に帰属する当期純利益66億50百万円を予想しております。

次期は定期修理工事が多い年にあたり、工事量が多くなると予想されます。日常保全工事、定期修理工事、改修工事など従来のメンテナンス工事の受注拡大に加え、閉鎖製油所の将来計画への参画によるFS検討から建設工事

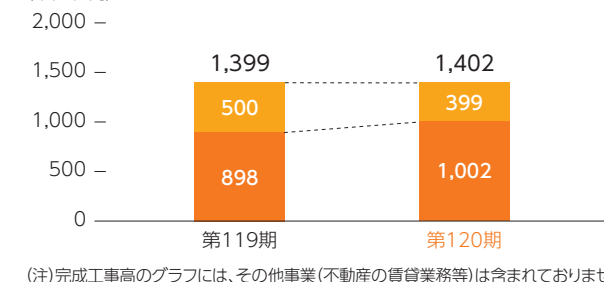
受注高の工事種類別内訳

(単位:億円)



完成工事高の工事種類別内訳

(単位:億円)



(注)完成工事高のグラフには、その他事業(不動産の賃貸業務等)は含まれておりません。

までの対応や一般化学、電子材料などの半導体に関わる高機能製品製造プラント、太陽光発電を始めとしたカーボンニュートラル案件など、事業環境の変化に対応した取り組みによる新規工事の受注確保に努めてまいります。

利益配分に関する基本方針 および当期・次期の配当

株主の皆様に対する利益配分に関しましては、これを経営の最重要課題と位置づけております。収益に即した継続的かつ安定的な配当を実施することに留意し、40%以上の連結配当性向を目標としております。また、配当の時期は中間および期末の年2回を基本といたします。

当期の期末配当につきましては、上記に基づき、通期の連結業績を総合的に勘案したうえで、1株当たり105円(普通配当40円、記念配当65円)といたしました。なお、中間にて実施した普通配当30円を加えた年間配当金は135円となります。

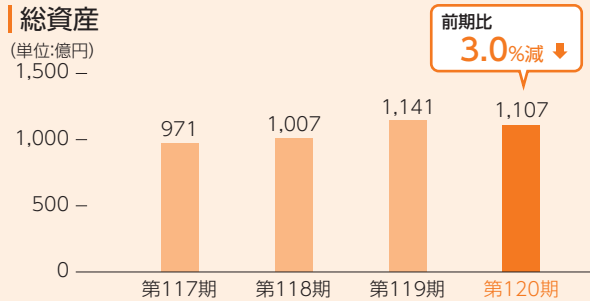
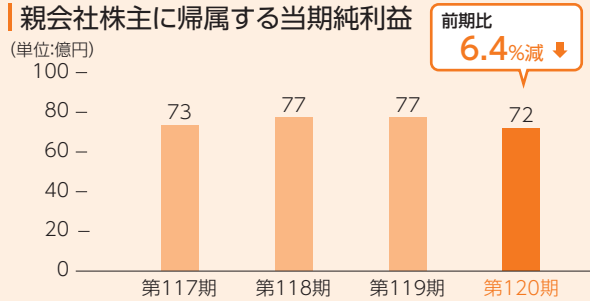
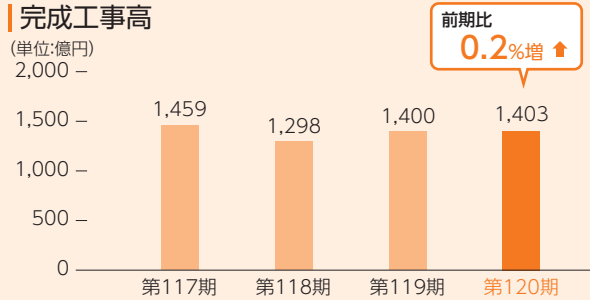
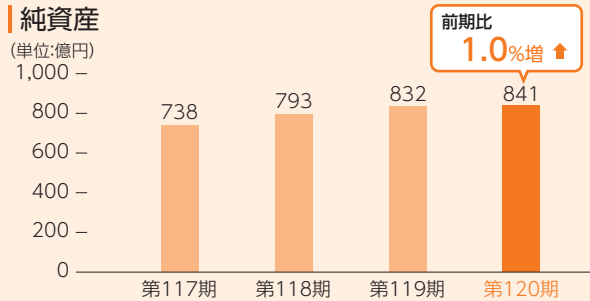
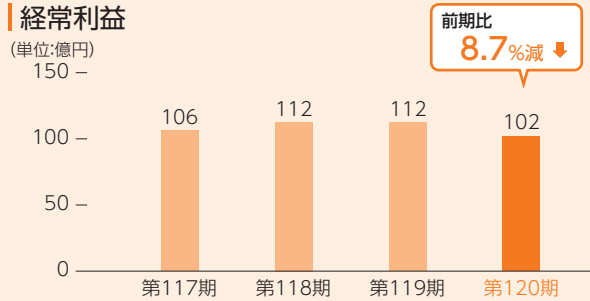
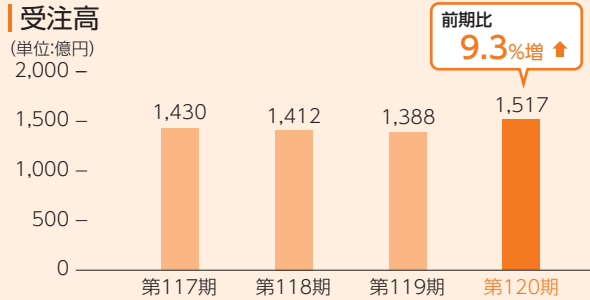
次期の配当につきましては、2024年2月9日に公表しました「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」のとおり、連結配当性向60%以上を目標としており、1株当たり中間配当35円、期末配当40円の年間75円を予想しております。

株主還元

継続性および安定性を充分留意した配当を実施しております。

第120期（2024年3月期）			
1株当たり配当金			連結 配当性向
中間	期末	年間	
30円	105円 (内 普通配当40円) (内 記念配当65円)	135円 (内 普通配当70円) (内 記念配当65円)	100.6%

連結決算ハイライト



詳細な財務情報は、当社ウェブサイトの「投資家情報」をご覧ください。

レイズネクスト IR
<https://www.raiznext.co.jp/ir/>

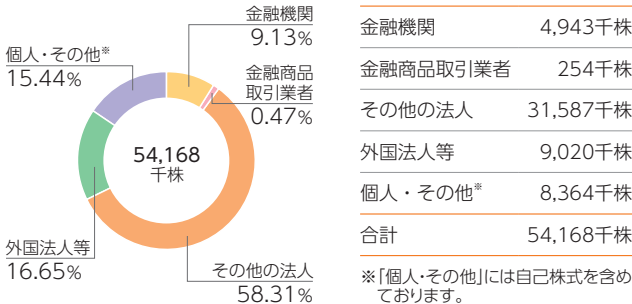
株式の状況（2024年3月31日現在）

- 発行可能株式総数 160,000,000株
- 発行済株式総数（自己株式885,013株含む） 54,168,053株
- 株 主 数 6,827名
- 大 株 主

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
ENEOSホールディングス株式会社	11,658	21.88
株式会社UH Partners 2	4,904	9.20
光 通 信 株 式 会 社	4,054	7.61
株 式 会 社 N I P P O	3,882	7.29
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	3,604	6.77
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	3,094	5.81
株式会社UH Partners 3	1,876	3.52
株 式 会 社 エ ス ア イ エ ル	1,354	2.54
レイズネクスト取引先持株会	1,200	2.25
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	1,081	2.03

※持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式数分布状況



資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

当社の現状を踏まえ、収益性・資本効率の向上、株主還元の充実、IR活動の強化に取り組めます。

▶ ROE(自己資本利益率)は8%以上で推移
▶ 良好な収益性
(純利益70億円以上を継続的に維持)

▶ 持続的な成長可能性の周知不足
▶ 低い株式流動性
(個人投資家による保有が限定的)

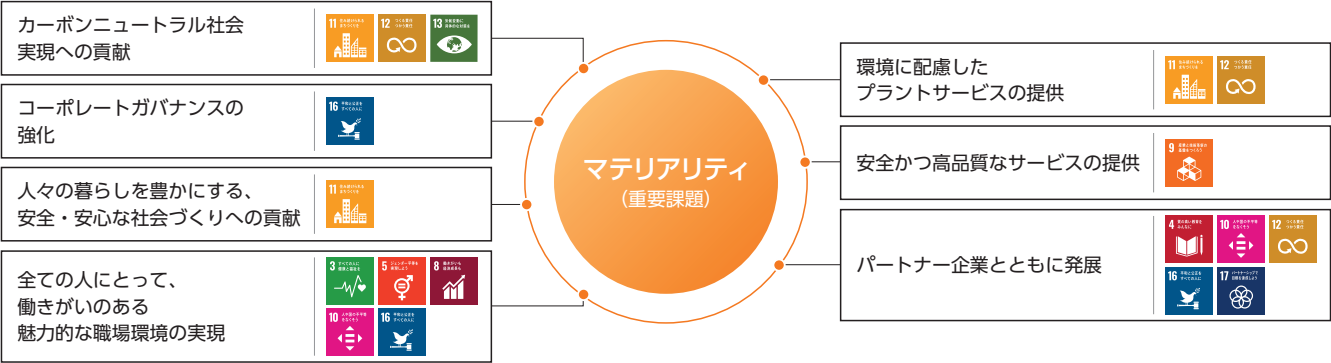
当社の課題

長期的にROE10%以上を目指すために

項目	具体的な取り組み
収益性の向上	- メンテナンス事業での安定した収益確保と成長分野への積極的な取り組み - 人的資本投資および DX、ICT化による労働生産性の向上
資本効率の向上	- 政策保有株式の継続的縮減 - 賃貸不動産・遊休不動産の売却
株主還元の充実	60%以上の連結配当性向を目標 - 特別配当の実施
IR活動の強化	- 当社の事業戦略に関する情報開示・発信の強化 - 個人投資家拡大に向けた取り組みの実施

社会と環境に調和した事業活動

当社は下記7つのマテリアリティ(重要課題)を特定し、環境面への配慮、ダイバーシティや働きやすさの推進、コンプライアンスやガバナンスの強化など、サステナビリティ経営を推進しています。



サステナビリティ経営への取り組み

ESGデータ(2024年3月31日時点)は当社ウェブサイトにも詳しく掲載しています。

E Environment
環境

当社施工の
再生可能エネルギー設備の
累積発電容量

267MW

GHG排出量
(Scope1 & 2)

6,223t-CO₂

S Social
社会

年次休暇取得率

83.8%

育児休業取得率

男性80.6%/女性100%

平均残業時間

15.4時間/月

従業員一人当たりの教育研修費用

153千円

G Governance
ガバナンス

取締役人数

10名

取締役10名の内訳

社外4名(女性2名)

詳細なESG関連データは、当社ウェブサイトの「ESGデータ」をご覧ください

レイズネクスト ESG

<https://www.raiznext.co.jp/sustainability/esg-data.html>



株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月中
基準日	定時株主総会については、3月31日といたします。 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
配当金受領 株主確定日	3月31日および中間配当を実施するときは9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同お問合せ先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告の方法	電子公告といたします。但し、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法といたします。

会社概要 (2024年3月31日現在)

商号	レイズネクスト株式会社 RAIZNEXT Corporation
本社所在地	〒231-0062 横浜市中区桜木町一丁目1番地8 045-415-1111
設立	1938年(昭和13年)7月20日
資本金	2,754,473,003円
上場取引所	東京証券取引所 プライム市場
従業員数	連結 2,125名 単体 1,641名

役員 (2024年6月25日現在)

代表取締役会長	野 呂 隆
代表取締役社長 社長執行役員	毛 利 照 彦
取締役副社長 副社長執行役員	福 久 正 毅
取締役副社長 副社長執行役員	上 田 秀 樹
取締役副社長 副社長執行役員	木 村 裕 之
取締役 専務執行役員	中宅間 大 作
社外取締役	伊 佐 範 明
社外取締役(監査等委員)	佐 分 紀 夫
社外取締役(監査等委員)	水 地 啓 子
社外取締役(監査等委員)	西 田 まゆみ

Webサイトのご案内

当社ウェブサイトでは、企業情報、事業・サービス、投資家情報など、様々な情報を掲載しております。
ぜひご覧ください。

レイズネクスト



<https://www.raiznext.co.jp>

